



神奈川の宇宙関連産業の振興を考える有識者会議（第3回）

事務局説明資料

令和8年8月20日

神 奈 川 県

前回までのまとめ

神奈川県の有識者会議



令和7年8月21日 第1回有識者会議

神奈川の宇宙関連産業の振興を考える 有識者会議

【構 成 員】	赤塚 剛文	マッハコーポレーション代表取締役社長
	新井 元行	Synspective代表取締役CEO
	荒木 慎介	三菱電機鎌倉製作所副所長
	大坪 正人	由紀精密代表取締役
	北澤 幸人	元神奈川県参与／学習院大学理学部客員研究員
	倉原 直美	インフォステラ共同創業者・代表取締役CEO
	白坂 成功	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科教授
	中須賀真一	立命館大学総合科学技術研究機構教授
	野口 聡一	宇宙飛行士
	野中 朋美	早稲田大学経営システム工学科教授
	橋詰 卓実	三菱UFJ銀行宇宙イノベーション室長
	藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所長
	山口 耕司	オービタルエンジニアリング取締役社長
	米津 雅史	クロスユー事務局長

(50音順・敬称略)

【開催実績】 令和7年8月21日（第1回）

- （主な議題）
- ・ 神奈川の「強み」「勝ち筋」
 - ・ 施策の「優先順位」「メリハリ」 など

令和8年1月16日（第2回）

- （主な議題）
- ・ 自治体に期待される役割 など

議論のポイント（１）

（総論）

- ◆ **国との役割分担を意識し、神奈川の「強み」「勝ち筋」や、「自治体にしかできないこと」に集中すべき。**
- ◆ 神奈川の「強み」「勝ち筋」は**明らかに人工衛星。**
- ◆ **歴史的な衛星産業集積の結果、神奈川には、北部から南部まで、現役・OBの衛星専門人材が揃っている。衛星スタートアップも神奈川に拠点を置くことで、こうした人材を（転居なしに）迎えることができる。**
- ◆ 衛星を製造する者に「ここですべて揃う」と言えればわかり易い。新しいビジネスも呼び込める。
- ◆ 東京から約1時間の距離、産業集積・地域性があり、産学官すべてが揃う。これらを活かさない手はない。

（産業の現場（１）：ステークホルダーのネットワーク）

- ◆ 特に米国、特に小型衛星は「垂直統合」が進む。対抗が難しい日本は「水平分業」に進む。協力関係の作り込み・ネットワークが大切。
- ◆ **神奈川県として、衛星に携わるステークホルダーを広く「束ねて」ほしい。モノづくり企業・事業所、研究機関、行政に加えて、衛星データを利用しようとする者や、金融機関などビジネスの収益性や持続可能性に着目している者を含め、様々な階層で意見交換ができることが大切。**
- ◆ 試験設備の少なさがボトルネック。企業が共同で試験設備を利用・試作品を製造できる場があれば魅力的・効率的・有意義。
- ◆ 「モノ」を扱うと物流が必要。「近いこと」「集積していること」は完成品メーカーとしてもありがたい。

議論のポイント（２）

（産業の現場（２）：衛星コンポーネント（コンポ）・アーキテクチャ）

- ◆コンポ・アーキテクチャのサプライチェーン（サブチェン）強靱化は神奈川が最優先で取り組むべき課題。
- ◆日本ではコンポメーカーがほとんど育っていない。衛星スタートアップは増えたが、海外製コンポを買って搭載している。今後衛星の需要が増えるので、神奈川でコンポメーカーを育てることは理に適う。
- ◆サプライヤーの中小企業がコンポを単独開発しようとしても、フライト実績のないコンポをいきなり採用・搭載してくれる衛星はない。逆に、衛星（完成品）メーカーの依頼で共同開発する場合はそういった課題はないものの、こんどは一般（他社）向けには販売できず、宣伝もできない。衛星（完成品）メーカーには、共同開発のコンポを専有せず、一般向けの販売を認める姿勢があるとよい。
- ◆コンポに係る国の支援は最先端分野に限られる印象。だが、海外などから現実に求められるものは日本製のバッテリー・カメラ・通信機器など。最先端分野ではなく「いま使える、ちょっとしたもの」。

（産業の現場（３）：衛星データ）

- ◆衛星は「製造すること」ではなく「ミッション」が目的。衛星データの活用・宇宙ソリューションは大切。
- ◆神奈川であれば、衛星のアップストリーム（つくる側）関係者と、ダウンストリーム（つかう側）関係者がコミュニケーションを取り易い。
- ◆「この地域課題を解決しよう」となれば目標ができる。防災・減災・まちづくりで貢献したい。
- ◆民間プラントなどの老朽化対策もポテンシャルがある。地盤沈下観測などはコスト・労力面で衛星が有用。

議論のポイント（３）

（産業の現場（３）：衛星データ）〈続き〉

- ◆自治体は「この地域（エリア）で何ができるか」という視点になりがち。だが（世界と比較して）「小さなエリア」では事業は成立しない。
- ◆よりよいソリューションを「域内で」つくり、「域外や海外にも」広げて収益機会を確保する姿勢が重要。
- ◆日本国内には、過疎化が進み、いろいろなことに人手を割きづらい地域もある。首都圏ではニーズが乏しいサービスでも、地方や海外では求められる可能性。
- ◆ポテンシャルがある領域の１つは防災・減災だが「マネタイズする仕組」「継続する仕組」がなければ産業（ビジネス）としては育たない。「ソーシャル・インパクト・ボンド」のような金融スキームについても、議論が進められている。
- ◆現場でこそAIが効いてくる。AIを施策に取り入れることが大事。

（産業の現場（４）：事業継続性・海外市場・資金調達）

- ◆多くの企業・事業所が宇宙に参入しているが、将来、国の大規模な支援が終了した後も存続するためには、いまから継続顧客を探しておく必要。
- ◆顧客として①日本政府、②自治体・国内民間、③海外があり得るが、地上センサー・インフラが整備されている日本では、②自治体・国内民間の需要は大きくなりにくい。
- ◆ターゲットとする国を絞った上で、③海外にも目を向けるべき。

議論のポイント（４）

（産業の現場（４）：事業継続性・海外市場・資金調達）〈続き〉

- ◆宇宙関連産業の規模は小さく、自動車産業に代わるものにはならない。海外市場を狙うことは重要。
- ◆サプライヤーとしても、自動車産業のように同一部品の量産で利益を上げることはできない。だが、「宇宙環境での使用を意識すると、モノづくりのレベルが上がり、新しい発見がある」など、別の価値がある。
- ◆「部品・素材だけ」バラバラでは売り込みにくい。システムメーカーの関与の下で「一緒に」売り込めるとよい。
- ◆米国の強さは、宇宙技術をスピンオフした地上民生品。宇宙に特化したのでは市場は小さいが、宇宙向けの技術を地上の民生用電子機器などに活用することで可能性が広がった。
- ◆貿易・投資など海外ビジネスの支援は、日本貿易振興機構（JETRO）・日本貿易保険（NEXI）・国際協力銀行（JBIC）などを通じて、国が、現地制度の情報提供から金融関連支援に至るまで広く提供しているが、地域の事業者の認知度を向上していく必要。
- ◆とりわけ産業が成長していく局面においては、事業者のタイプ・成長フェーズ・規模などを整理して、それぞれの資金提供者と対話していくことが重要。

（人材確保・育成）

- ◆歴史的な衛星産業集積の結果、神奈川には、北部から南部まで、現役・OBの衛星専門人材が揃っている。衛星スタートアップも神奈川に拠点を置くことで、こうした人材を（転居なしに）迎えることができる。

【再掲】

議論のポイント（５）

（人材確保・育成）〈続き〉

- ◆他の産業分野からの人材確保が最大のポイント。
- ◆国の「宇宙スキル標準」（宇宙業界で求められるスキルを体系的に整理）の活用が大切。県のプログラムを組み合わせることで（人材確保・育成施策として）デファクト化すると思う。
- ◆学生・生徒から「缶サット」（飲料缶サイズの模擬衛星）の落下試験をしたいと聞く。「缶サット」による人材育成も考えられる。

（「夢を与える題材」としての宇宙・未来の宇宙生活）

- ◆県が取り組むのは「産業として儲かる」からか。「ある種の豊かさがもたらされる」からか。後者も重要。
- ◆宇宙は「産業」として注目を集めるようになった一方、「科学」に参加してもらう余裕がなくなってきた。宇宙「科学」そのものは収益化できないが、夢を与える側面を含め、いろいろなところに波及している。
- ◆かなりの長期スパンだが、民間人が宇宙に行く時代になれば生活に必要なものはすべて宇宙でも必要。宇宙関連産業が大きくなるというより、既存産業が宇宙にも出荷するようになる。
- ◆自社が有する環境技術・ヘルスケア技術などを宇宙向けに応用していくことに興味はあるが、アプローチの方法がわからないという声を聞く。
- ◆宇宙では「未病」も重要。宇宙ステーション（ISS）で医療上の懸念が生じた結果、宇宙飛行士が早期帰還する出来事があった。人命最優先の姿勢は重要だが、本来は、そうならないように宇宙医学があるはず。

〈報告〉
神奈川県 令和8年度予算
宇宙施策のポイント

神奈川県 令和8年度予算 宇宙施策のポイント

状況認識 神奈川の強みは人工衛星。課題は、水平分業の円滑化（交流強化）、ミッション（衛星データ利用）開発、海外市場を含む販路開拓、人材確保など

⇒ **基本方針** 宇宙が持つ「夢を与える題材」としての側面などには配慮しつつ、**衛星にフォーカスを絞り、施策をメリハリ付け**

①総合的な機運醸成

イ) 宇宙関連産業参入促進等事業費【4,516万円】 宇宙ビジネスの可能性を広く発信する大規模カンファレンス「宇宙サミット2027」の開催等

②産業の現場

（交流拠点）

ロ) 宇宙関連企業交流拠点事業費【7,696万円】

企業、大学・研究機関、金融機関、支援機関等の交流拠点として相模原市に設置した「KANAGAWA Space Village」（オフィス・ラボ）の運営等

ハ) 振動試験設備モデル設置事業費【8,883万円】

衛星の開発等に必要な振動試験設備の整備

（衛星データ）

ニ) 衛星データビジネス利用促進支援事業費【1億1,307万円】

衛星データを利用したプロジェクトの事業化支援（行政課題解決・AI利用に関する支援枠を新設）

（海外等）

ホ) 宇宙関連産業参入促進等事業費【4,516万円】【再掲】

販路開拓のための展示会への出展支援（海外市場へのアプローチを含め後押し）等

相互に
関係

将来の
関連産業
すそ野の
広がり

③人材の確保・育成

ヘ) 宇宙人材確保・育成事業費【5,180万円】

- ・宇宙業界で求められるスキルを体系的に整理した「宇宙スキル標準」を活用した業界のイメージ明確化（セミナーの開催）等
- ・小型衛星の組立キットを教材とする講座の受講支援
- ・学生・生徒向けの「宇宙にかかわる仕事」の情報提供（出張講座等）

宇宙に目を向ける「きっかけ」

④「宇宙時代」の到来に向けた取組

ト) 宇宙関連産業広報事業費【2,412万円】

「宇宙を身近に感じられる機会」を子どもに提供するための広報（キャラクターを活用）等

チ) デュアルユース型ビジネス創出支援事業費【993万円】

資源の利用に制約がある宇宙空間での技術を、地上における持続可能な暮らしに活用する「宇宙と地上のデュアルユース」の支援（展示会出展支援等）

〈報告〉 宇宙サミット

「宇宙サミット2027」を開催します！

【開催日】 2027年2月4日（木）

【会場】 アニヴェルセル みなとみらい横浜

※桜木町駅徒歩14分・みなとみらい駅12分

【入場料】 どなたでも**無料**です

※レセプションは有料です

【主催】 宇宙サミット実行委員会

※協賛を募集しています [問合せ：045-210-5640]

宇宙県かながわに集え。共に創る、宇宙の「これから」

〈コンセプト〉

1. かながわの「強み」をのばす

- ・「人工衛星といえば神奈川県」という、たしかなブランド
- ・JAXAも、「ものづくり企業」も勢ぞろい（大手から中小、ベンチャーまで）
- ・港も、道路も、鉄道も（便利な交通網）

2. みんなに開かれた、顔が見える宇宙ネットワーク

- ・これから宇宙に取り組むひと、もう取り組んでいるひと
- ・宇宙×生活×他産業・AI、企業×大学・JAXA×行政のコラボ
- ・全国の自治体といっしょに宇宙に取り組む

3. 世界とつながる

〈参考〉宇宙サミット「2026」（2026年2月5日）サマリー

行ってみたい、観てみたい、魅力あふれるイベントに



【1】一般来場者受付

【2】エントランス

（アニヴェルセル みなとみらい横浜）



オンライン含め、延べ

参加者 約3,300名

- 来 場 約1,600名
- オンライン 約1,600名

※いずれも「延べ」

※「オンライン」は開催日18時時点の視聴回数



【3】会場「スペース・コモンズ」
朝イチのセッションから「立ち見」となった
＜特別スピーチ＞

〈参考〉宇宙サミット「2026」（2026年2月5日）サマリー

協賛企業の展示ブース



【1】協賛企業の展示ブースは多くの来場者で終日賑った
（2階・展示ゾーン3）



【2】三菱電機（特別協賛）は、神奈川県「南部」に交流拠点
「湘南スペースパーク」を整備する構想を発表した

協賛企業

特別協賛



MITSUBISHI ELECTRIC
Changes for the Better

プラチナパートナー



JTB
感動のそばに、いつも。

ゴールドパートナー






シルバーパートナー
















ブロンズパートナー






















【3】協賛企業の展示ブースは多くの来場者で終日賑った
（3階・展示ゾーン1）

〈参考〉宇宙サミット「2026」（2026年2月5日）サマリー

プロは唸り、初心者には易しいプログラム

①宇宙飛行士が語る
リーダーシップとフォロワーシップ

夢／宇宙時代

②あなたの事業、宇宙で活かしませんか
～既存技術からはじまる、現実的な挑戦～

衛星（強み）

③自治体を目指す“宇宙のまち”

総合

④宇宙科学技術を支える神奈川県
～月・火星探査への挑戦～

衛星（強み）

⑤宇宙ビジネスにおけるグローバルな視点と
アジア・太平洋との連携

衛星（強み）

グローバル

⑥欧米で進展する
次世代宇宙アーキテクチャと取り組み

衛星（強み）

グローバル

⑦衛星を“アプリ”で進化させる時代へ
～オンボード処理の進歩とこれから～

衛星（強み）

グローバル

⑧Cloud Everywhere
～海外専門家が語る
“宇宙システム”の次の形～

衛星（強み）

グローバル

⑨「宇宙県神奈川」の展望

総合

衛星（強み）

⑩エンターテインメントの最前線は、宇宙へ
～宇宙が拓く、体験のフロンティア～

夢／宇宙時代

⑪神奈川県で事業化を目指す
衛星データ活用プロジェクト

衛星（強み）

⑫宇宙からのデータを活かして創る
レジリエントな未来

衛星（強み）

⑬宇宙関連ビジネスの創出と仕掛けづくり
～神奈川県の優位性～

総合

⑭神奈川発・宇宙が開く未病社会
～宇宙医学・予防医療の最前線～

夢／宇宙時代

⑮宇宙産業の人的基盤強化
～宇宙スキル標準でつなぐ政策・教育・産業～

人材確保

⑯サステナビリティの答えは、宇宙にある
～ECLSS（エクルス）が描く水・空気・
食・エネルギー・再生医療の未来～

夢／宇宙時代